

安全衛生委員会議事録（第4回）

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 日 時   | 令和6年7月17日（水） 午後1時30分～午後2時30分  |  |
| 場 所   | シルバー人材センター会議室   |  |
| 出席者   | 委員長   | 信田光隆（事務所長）   |
|       | 委員  | 村瀬敏之（産業医）<br>埴原久美子（派遣会員）、大塚みさ子（派遣会員）<br>江口正美（派遣会員）、三浦大輝<br>富田泰弘（衛生管理者） |
| 議事・報告 | <p><b>1 あいさつ</b><br/>発熱、喉痛の自覚症状から新型コロナウイルスの感染を疑って来院された方のうち、実際に感染されていた方は1/3程度であった。<br/>高齢者は節約志向であるが、熱中症対策のためには、28度ぐらいの温度設定で、エアコンを効果的に使用して過ごして頂きたい。</p> <p><b>2 熱中症に気をつけよう（熱中症特別警戒アラート）</b><br/>熱中症とは、熱の負荷が大きくて体温調整機能が働かなくなったことによる体調不良である。熱中症の予防には栄養が偏らないバランスの良い食生活を心がけて頂きたい。<br/>熱中症特別警戒アラートは、前日の14時頃に発表されるため、熱中症予防に活用して頂きたい。</p> <p><b>3 「虫刺され」の症状・治療法、「ハチ（蜂）刺されの対処法</b><br/>蚊やハチ等の虫に刺された場合、皮膚の炎症や、酷い場合はアレルギー反応「アナフィラキシーショック」が起きることがある。虫に刺されたときは、患部を冷やし、重症の場合は医療機関を受診して頂きたい。<br/>・委員各自の虫対策について話してもらい参考にして頂いた。</p> |  |
| 決定事項  | 今回の議事録をウェブサイトに掲載して広く会員に周知して、熱中症予防及び虫刺され注意の啓発に務めていただく。   |  |
| 産業医指導 | <p>熱中症の場合、意識があれば、水分補給等の処置を行ってしばらく安静にすることで回復に向かうが、判断に難しい場合は医療機関を受診して頂きたい。また、熱中症時の水分補給では、砂糖50g、塩2gを水500ml溶かして飲むことも良い。</p> <p>虫に刺されて痒みがひどい場合は、ステロイド外用剤が効果的であるが強い薬であるため、医師の指示に従って使用して下さい。</p>   |  |